

# 表象文化論学会

## 第9回大会

2014  
7月5<sup>土</sup> → 6<sup>日</sup>

7月5日 土 東京大学駒場キャンパス 18号館 ホール

無料(会員・非会員とも)  
会員優先  
※満席の場合は入場をお断りすることがあります。

シンポジウム

13:00  
|  
15:00

接触の表象文化論  
—— 直接性の表象とモダニティ

透過性と身体 —— 医学史から見る〈接触〉の問題 田中祐理子(京都大学)  
接触から震動へ —— 〈響き〉としての内面性の誕生 吉田寛(立命館大学)  
ヴァルター・ベンヤミンにおける二つの触覚とアナクロニスティックな時間の創設 高村峰生(神戸女学院大学)  
痕跡・距離・忠実性 —— 聴覚メディア史における〈触れること〉の地位をめぐって 福田貴成(中部大学)  
(司会) 橋本一徑(早稲田大学)

ライブ & アーティスト・トーク

16:00  
|  
18:00

SEIGEN ONO Plus 2014 featuring NAO TAKEUCHI and JYOJI SAWADA

7月6日 日 研究発表 東京大学駒場キャンパス 18号館 4F コラボレーションルーム 1/2/3 + 同 1F メディアラボ 2

事前予約不要  
当日会費=1,000円(会員は無料)

午前

パネル  
1

鳥をめぐる想像力、周縁への感度

絶望の淵の「希望」と「暴力」—— 目取真俊「虹の鳥」考 崎濱紗奈(東京大学)  
「父」なるもの受容、そして転換 —— 大江健三郎作品における「鳥」の表象に注目して 菊岡晴子(東京大学)  
(音)風景を与える —— 鳥を書き分けるブランショ 高山花子(東京大学)  
(コメンテーター 司会) 田中純(東京大学)

コラボレーションルーム 1

10:00  
|  
12:00

パネル  
2

シュルレアリスムのあるところ  
—— 運動の境界線をめぐって

チェコスロヴァキア・シュルレアリスムにおける日常表象の政治性 河上春香(大阪市立大学)  
マン・レイ(天文台の時刻に—— 恋人たち)に関する一考察 —— シュルレアリスムとモードにおける唇のイメージ 小山祐美子(一橋大学)  
フィギュラシオン・ナラティヴはシュルレアリスムとどのように接しているのか 中田健太郎(日本大学)  
(コメンテーター) 水木千里(成城大学) (司会) 海老根剛(大阪市立大学)

コラボレーションルーム 2

パネル  
3

見えるものと見えないもの  
—— 視覚経験の臨界

暴力、フレーム、見えないもの —— オーソン・ウェルズの「黒い畏」(1958) 川崎佳哉(早稲田大学)  
マンガにおける絵と言葉 —— 諸星大二郎「感情のある風景」と可視性の条件 三輪健太郎(学習院大学)  
石原表におけるゲシュタルトの安定性/不安定性 馬場靖人(早稲田大学)  
(コメンテーター 司会) 松谷啓作(神戸大学)

コラボレーションルーム 3

午後1

パネル  
4

「芸術家」の表象

「神のごとき」芸術家 —— ヴァゼーリによるミケランジェロの記念をめぐって 吉川萌(京都大学)  
「子ども」のような芸術家 —— ジョルジュ・バタイユにおけるカフカと至高性 井岡詩子(京都大学)  
「無心」の芸術家 —— 柳宗悦と民画 吉館遼(東京大学)  
(コメンテーター) 柳澤田実(関西学院大学) (司会) 杉山博昭(早稲田大学)

コラボレーションルーム 1

14:00  
|  
16:00

パネル  
5

メディアとしての音声  
—— 20世紀諸芸術におけるその実践

アンリ・メシニックにおける演劇性の概念 —— 新たな声としての「オラリテ」を翻訳するために 森田俊喜(東京大学)  
目と耳のあいだ —— ベルナル・ハイティックにおける応答としての声 熊木淳(早稲田大学)  
外部の声 —— レトリズム映画における音声の役割について 門岡広明(早稲田大学)  
(コメンテーター) 鈴木雅雄(早稲田大学) (司会) 星守守之(東京大学)

コラボレーションルーム 2

パネル  
6

知/性、そこは最新のフロンティア  
—— 人工知能とジェンダーの表象

電子の時代のヒューマリオン —— ポストヒューマン技術のジェンダー化をめぐる文化的想像力 小澤京子(京都大学)  
人工知能にジェンダーは必要か —— ソーシャルロボットとしてのAIと被行為者の観点から 西條玲奈  
挑発的なサイボーグであるために —— 「もはや誰も人間ではない」世界に生きるためのポリティクス 飯田麻結(東京大学)  
(コメンテーター) 大橋完太郎(神戸女学院大学) (司会) 北村紗衣(京大)

コラボレーションルーム 3

午後2

パネル  
7

Le temps diff r  
—— デリダ没後10年

痕跡と切迫 —— デリダの差延論と決定の思考 吉松寛(京都大学)  
力の差異としての歴史の構想 —— デリダのハイデガー、ニーチェ読解から 島田貴史(東京大学)  
「資本論」の亡霊たち —— ジャック・デリダと梶谷行人のマルクス読解をめぐって 唐橋聡(東京大学)  
(コメンテーター) 宮崎裕助(新潟大学) (司会) 吉松寛

コラボレーションルーム 1

パネル  
8

匣のなかの科学者と少女  
—— 京極夏彦「魍魎の匣」による科学文化論の試み

京極夏彦「魍魎の匣」を開く 興村大介(慶応義塾大学)  
京極夏彦「魍魎の匣」で描かれる科学者の哀しさ —— 「ルー=ガルー2」との比較から 西原伶(白百合女子大学)  
京極夏彦「魍魎の匣」における「少女」表象 —— 人形と匣をめぐる欲望の関係性 鈴木真吾(学習院大学)  
(コメンテーター) 西原志保 (司会) 金壽修(東京大学)

コラボレーションルーム 2

Melancholy Ethics

Ecocriticism and the Moving Image in a Planetary Age

Moving Images as an Environmental Issue in Kurosawa Kiyoshi's Cinema Suzanne BETH (University of Montreal)  
Doubts, Denial and Recognition: A Cavellian and Oreskian Approach to Films on 311 Élise DOMENACH (ENS de Lyon / University of Tokyo)  
After Species Being: Gender, Sexuality, and the Critique of Industrialization Diane Wei LEWIS (Washington University in St. Louis)  
(Discussant) Yoshiaki SATO (Chair) Christophe THOUNY (University of Tokyo)

コラボレーションルーム 3

企画パネル

杉山博昭『ルネサンスの聖史劇』を読む

杉山博昭(早稲田大学) 松原知生(西南学院大学) 森元庸介(東京外国語大学) (司会) 黒岩卓(東北大学)

\*企画パネルのみ18:00終了

メディアラボ 2

\*プログラムは予告なく変更される場合があります。詳細および最新情報は学会ホームページ (<http://www.repre.org>) をご覧ください。

問い合わせ先: 表象文化論学会事務局 〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科 表象文化論研究室内 FAX 03-5454-4336 E-mail [repre@repre.org](mailto:repre@repre.org) URL <http://www.repre.org>